

第7回役員会議事要旨

| 日 時 | 場 所 | 欠 席 者 | 陪 席 者 |
|----------------------|-----|--------|---------------|
| 平成18年7月13日（木）13時30分～ | 学長室 | 経営担当理事 | 常勤監事 非常勤監事 |

1. 議 題

(1) 教育研究評議会の審議事項等について

総務・財務担当理事から、議題資料1に基づき、7月14日開催予定の教育研究評議会に諮る審議事項等について説明があり、審議の結果、承認した。

(2) 平成18年度教育改革等推進経費及び学生支援プロジェクト経費の選考について

教育担当理事から、議題資料2-1に基づき、6月8日開催の役員会において承認の上、公募を行った教育改革等推進経費について、選考の経緯の説明があり、審議の結果、原案を承認した。

次いで、同理事から、議題資料2-2に基づき、同じく公募を行った学生支援プロジェクト経費について、7月11日開催の学生生活委員会において審査した旨説明があり、審議の結果、原案を承認した。

なお、同理事から、学生支援プロジェクト経費について、来年度以降は公募に伴う説明会を実施し、申請に当たってはヒアリングを実施するなど、プロジェクトの充実を図りたい旨発言があった。

(3) 平成18年度地域貢献推進経費及び大学運営特別経費の選考について

連携・評価担当理事から、議題資料3-1に基づき、5月11日開催の役員会において承認の上、公募を行った地域貢献推進経費について、選考の経緯の説明があり、審議の結果、原案を承認した。

次いで、同理事から、議題資料3-2に基づき、同じく公募を行った大学運営特別経費について、選考の経緯の説明があり、審議の結果、整理番号4及び18の事業を除き原案を承認した。

なお、この2件については、施設整備事業であるので、別途、予算措置している教育研究環境整備費の中で検討することとした。

(4) 香川大学放射線管理委員会規則の一部改正について

学術担当理事から、議題資料4に基づき、本学放射線管理委員会の権限を強化し、全ての施設の放射性同位元素等の保管状況の調査報告を求めることができるよう、標記規則を一部改正することについて審議願いたい旨説明があり、審議の結果、原案を了承した。

2. 報告事項

(1) 平成17事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

連携・評価担当理事から、報告資料1に基づき、6月22日開催の役員会において承認された標記報告書について最終点検した結果、一部不適切な記述が見つかったので、当該箇所を修正した上で、国立大学法人評価委員会に提出した旨報告があった。

(2) 香川大学大学づくり委員会報告について

教育担当理事から、報告資料2に基づき、6月26日に開催した第1回標記委員会について報告があった。

(3) 日銀グランプリ受賞者への学長表彰について

教育担当理事から、報告資料3に基づき、教育学部学生3名が日本銀行主催で開催されたコンテストにおいて第2位に当たる優秀賞を受賞したこと、及び、教育学部長からの推薦に基づき、6月20日開催の学生生活委員会において当該学生への学長表彰を決定し、6月26日に学長表彰を実施したことについて報告があった。

(4) 留学生会館の火災に伴う求償について

教育担当理事から、報告資料4に基づき、5月13日に本学留学生会館にて発生した火災について、5月31日開催の留学生委員会において審議し、出火原因を発生させた学生に対し、損害額の一部を賠償請求することとした旨報告があった。

また、役員から、これを機に留学生会館の建物内禁煙の推進、及び入居者に対する火災保険の義務化について検討してはどうかとの意見があった。

(5) 第57回四国地区大学総合体育大会の結果について

教育担当理事から、報告資料5に基づき、5月12日から7月2日まで本学が当番大学として開催した標記大会の結果について報告があった。

(6) 学生数の現況について

教育担当理事から、報告資料6に基づき、過去5年間の学生数及び学生異動(休学者数、退学者数、留年者数、除籍者数、転学部者数)などの傾向及び現況について報告があった。

(7) 教育学部と清州大学校人文大学(大韓民国)との学術交流協定の更新について

学術担当理事から、報告資料7に基づき、標記協定の更新に当たり、香川大学における学術国際交流協定に関する取り扱い方針に基づき、交流実績等の点検・評価を行い、7月10日開催の学術国際交流委員会において協定の更新が認められた旨報告があった。

(8) 香川大学工学部支援基金による支援について

総務・財務担当理事から、報告資料8に基づき、工学部東側土地の取得について(財)かがわ産業支援財団理事長宛に香川大学工学部支援基金による支援を依頼した旨報告があった。

(9) 学校教育法改正に伴う助教等の在り方検討ワーキンググループの検討状況について

教育担当理事から、参考資料に基づき、これまで3回開催した標記ワーキングの検討状況について報告があった。

また、同理事から、本日7月13日に第4回目のワーキングを開催する旨併せて報告があった。

3. その他

(1) 平成17年度全学会議開催状況について

学長から、資料に基づき、本学における会議、全学委員会及び各部局教授会等の主要会議の開催状況の調査結果について説明があり、会議の効率的な運営について意見交換を行った。意見交換の結果、役員から以下のとおり意見があった。

一つの会議にかかる時間は、長くても2時間までを目安にしてはどうか。また、開催通知には、開始時間と終了時間を明記してはどうか。

会議運営の責任を部局長から下位へ権限委譲することによって、負担の軽減が図れるのではないか。

会議にかけなくてもよい事項をかけているのではないのか。

最後に、学長から、教育・研究時間の確保及び会議の効率的な運営のために、会議時間の削減計画を立てるなどし、20%の削減を目指したいので、具体の提案があれば寄せてほしい旨発言があった。

(2) 毒物・劇物の管理の徹底について

監事より、7月11日から行っている「衛生管理者による作業場等巡視」に監査室の内部監査として立ち合ったところ、一部の部局で、毒物・劇物等の管理が不十分であったため、各部局等において適正な管理を徹底させるようにとの指摘があった。

閉会15時40分